

教師説明型

児童生徒発表型



北九州市立門司海青小学校
安立大輔

実践テーマ

教科書の武士の屋敷の挿絵を大写しにして、暮らしの特徴について共通理解する。

授業の進め方・ICTの活用の仕方

- 〈導入〉 児童が見つけた特徴を書き込んだ貴族の屋敷の想像図を電子黒板上に提示し、振り返らせる。
- 〈展開〉 ・武士の屋敷の想像図を電子黒板上に提示する。(興味・関心を高める)
・見つけた特徴を電子黒板上の想像図に書き込んでいく。(発表への意欲化と見つけた特徴の共有)

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動	使用する教材 (デジタルコンテンツ等)
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に学習した貴族の屋敷の想像図を基に、その特徴を振り返るとともに、「屋敷のつくり」「人の服装」など本時での着眼点をもつ(静止画①)。 ・武士の屋敷の想像図を提示し、暮らしの特徴を見つけていくめあてをもつ(静止画②)。 	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書の挿絵「貴族の屋しき(想像図)」(教育出版(株))
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・武士の屋敷の想像図から特徴を読み取る。 ・見つけた特徴を発表する。 ・武士の屋敷の特徴をまとめる(静止画②)。 ・どのようにして、このような暮らしになったか予想する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●教科書の挿絵「武士の館(想像図)」(同上)
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・見つけた特徴や児童の予想から、武士の政治の始まりについて調べていこうという学習課題をもつ。 	



前時の貴族の屋敷の想像図を提示し、振り返る



見つけた特徴に印をつけていく

児童の反応・効果

- ・電子黒板上で特徴に印をつけていくことによって、それぞれが見つけたことを共有化することができた。
- ・細かなところが拡大でき、児童の発表意欲が高まるとともに、聞く側の児童の視線もあがり、集中力の高まりが見られた。

活用のポイント

- ・貴族の屋敷の想像図と武士の屋敷の想像図を、1つの画面上で対比できるような提示ができると、より理解が深まる。
- ・見つけた特徴は電子黒板上で印をつけていくだけでなく、黒板上で言葉として板書していくことで、より言語活動の充実が図られる。